

# 社協ワーカーだより

No.21 平成26年6月



地域のみなさんや関係機関の方々に向けて社協ワーカー（職員）の動きや、社協の事業について情報発信するお便りです！！

地域で支える子育て応援団！！

## 「ファミリー・サポート・センター」



福岡ファミリー・サポート・センター（略称「ファミサポ」）は、育児の援助を受けたい人（依頼会員）が、子どもを預かってほしいときに、身近な子育ての応援会員（提供会員）をセンターがご紹介し、地域の会員同士で支え合い活動を行う組織です。

「保育所・幼稚園・留守家庭子ども会への迎えとその後の預かり」や「仕事や買い物等外出の間の預かり」、「習い事等への送り迎え」…など、様々な活動を有償で行います。

### ～センターのしくみ～



ファミリー・サポート・センター支部  
（各区社協内）

#### 〔登録方法〕

センターが実施する講習（1時間程度）を受講し、登録

#### 〔登録方法〕

センターが実施する講習会（3日間）を修了し、登録

サポートの依頼

サポートの報告

- ・福岡市在住又は勤務
  - ・生後3か月～小学6年生までのお子さんがいる人
- ※障がいがあるなど特別な支援が必要なお子さんの場合は、中学3年生まで

依頼会員

会員同士でサポート  
事前にペアを組みます

提供会員

- ・福岡市在住で心身ともに健康で、自宅で安全に子どもを預かれる人
- ・年齢、性別、資格は問いません

地域で安心して子育てができるように支援する仕組みの必要性が高まる中、このファミサポ組織の果たす役割はますます重要になると考えています。

ぜひ提供会員に登録し、地域のお子さんの成長をご近所さんの立場で支えてみませんか！

【問い合わせ先】福岡ファミリー・サポート・センター本部（電話：736-1116）

★提供会員養成講習会のお知らせ★（詳細はセンターにお問い合わせください）

日時：7月2日（水）10:00～15:00、7月4日（金）10:00～14:30、7月8日（火）10:00～14:30

場所：西市民センター

※次回以降の開催予定…9月（城南市民センター）、11月（南市民センター）、1月（ふくふくプラザ）





## ～各種制度を活用し、病院受診につないだ事例～

地域でボランティアをしているAさんは一人暮らし。あるとき、Aさんが活動に顔をみせなくなったことを心配したボランティア仲間がAさんを訪ねると、「胸にしこりがあり、乳がんのようだが、がんと宣告されると思うと怖くて受診できない。」と打ち明けてくれました。仲間が受診を促し、付添も申し出ましたが、Aさんがなかなか病院に行かなかったため、社協職員に相談がありました。

職員は、日頃地域に出向いた際にAさんとも顔を合わせており、Aさんのことをよく知っていたため、Aさんと二人で話をすると、「病院に行くのも怖いけど、年金も少なく病院代の工面が難しい。今も電気を止められており生活に困っている。」と言われました。そこで、職員は、無料・低額診療事業（※1）と、生活福祉資金の緊急小口資金（※2）を紹介しました。

まず、Aさんは病状が進行して社協の窓口まで来ることができなかつたため、職員がAさん宅に出向き、緊急小口資金の申請手続きを行って、電気代の滞納を解消しました。その後も職員が定期的に関わり、一緒に家計の立て直しを図りました。

また、病院のソーシャルワーカーと連絡を取り合いながら、病院受診を躊躇するAさんを一緒に説得し、無料・低額診療事業を利用して病院受診につなぐことができました。入院の際は、仲間が準備を手伝ってくれました。

その後、Aさんは通院を続けていますが、ボランティアに復帰することができ、仲間と楽しく活動を続けています。



### （※1）無料・低額診療事業

疾病等を抱えているにもかかわらず、通院することが困難な低所得者等を対象に、無料または低額で診療を行っている病院があります。社協は相談・受付を行います。

### （※2）生活福祉資金の緊急小口資金

低所得者・障がい者・高齢者の世帯で一時的に生活が困窮した方に対し、資金の貸付けと必要な相談支援を行うことにより、安定した生活を送れるようにするための貸付制度です。その中でも緊急を要する方に小口（上限10万円）で貸し付ける緊急小口資金があります。

## 今月の 気- (KEY) になる!! キーワード

### 「認知症サポーター」



認知症サポーターとは、認知症について理解し、認知症の人やその家族を温かく見守り、支援する応援者のことで、認知症サポーター養成講座を受講した人のことをいいます。

認知症サポーター養成講座は、都道府県、市区町村などの自治体や、所定の研修を受講した人（キャラバン・メイト）が、一般住民、学校、地元企業等を対象に行っています。講座受講者には、認知症サポーターの証として、オレンジリングと呼ばれるブレスレットを配布しています。

認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目的に、認知症について正しく理解し、認知症の人への接し方を学んだサポーターが、生活のさまざまな場面で活躍しています。

### ★ 始めてみませんか? ご近助 (所) ボランティア! ★

東区社協では、自分の住む地域でボランティア活動したいという方に地域福祉活動を紹介しています。

7月には、全3回の「あなたにもできるご近助 (所) ボランティア講座」を実施します。

地域でのボランティア活動に関心のある方は、ぜひ東区社協にご相談ください。

お問合せ：東区社会福祉協議会 TEL：643-8922